



こんにちは

# 白子の議会

です

第104号

平成24年5月15日

編集発行  
白子町議会

☎0475(33)2169



ウォーキングロード

## 第1回定例会

平成24年第1回定例会が3月8日から3月14日まで開催されました。  
一般質問は、5名の議員が町政を質しました。

一般質問	2～6ページ
平成23年度議案・補正予算について質疑応答	7ページ
平成24年度一般会計・特別会計についての質疑応答	8～9ページ
こんなことが決まりました	10ページ

# 一般質問 町政をきく

## 「防災無線」について

宗島理仁議員

議員 二〇一二年三月十一日の震災時に防災無線の運用面の不備が露呈されましたが、どのように改善されたか内容と成果を伺います。

### 訓練は今後も実施

町長 昨年の十月三十日に津波避難訓練をし、全職員がマニュアルに基づき部署にもつかせて対応をさせました。今後も避難訓練は実施していく予定であり、さらに、防災無線の周知を図るための訓練放送も今後実施していきます。

### 「災害時の緊急情報の多様化」について

議員 災害時では、防災無線以外に「エリアメール」や「メールマガジン」の町独自の運用が必要不可欠だと考えていますが、見解を伺います。

### 迅速な対応を目標に

町長 「エリアメール」に関しては既にNTTドコモと契約を結び、避難の準備情報や避難指示等の十五種別の災害避難情報等の運用を行っています。他社とも今後契約をしていく予定です。

### 災害対策全般について

「メールマガジン」についてはツイッターなどと合わせてシステムの導入の検討を行い、迅速な対応がとれるようにします。

### 秋を目標に作成

議員 震災以降、新たな津波避難マップや洪水避難マップ等の作成はできているか伺います。

町長 新たな想定のもと房総半島南端での津波高を十メートルあるいは段

階的な数字を基礎資料とし改訂を考えています。平成二十四年の秋を目標に取り組んでいます。

### 近隣市町村との連携について

議員 災害時の応急活動体制が具体的にどのような体制であり、また、近隣市町村との連携はどのようなに組まれているか伺います。

### 広域連携で防災体制の強化を

町長 応急活動体制については災害の規模と状況に応じて第一配備から第五配備にするという体制をとっています。

近隣市町村との応援体制については、大規模災害が発生した場合、千葉県が主体となつて市町村の相互応援に関する基本協定が存在し、白子町も参加をしています。

また、防災体制の強化において、平成二十四年一月に長生郡市広域災害対策協議会を立ち上げました。

### 町の産業活性化について

議員 現在、各地域の人と農地の問題の解決に向けた施策（地域農業マスタープラン）が実施されていますが、加えて第六次産業に取り組む農林漁業者等への支援が実施されています。

やる気のある若手の支援や、新たな事業分野を開拓する人たちのための支援に町はどのような指揮を執るか伺います。

### 可能な限り支援を

町長 白子町の農業も高齢化と担い手不足、耕作放棄地の解消と多くの問題を抱えています。これらの問題を解決するためにも、特に若い人たちの意向を踏まえた話し合いをし、実現可能なプランを策定したいと思っております。そのことにより、担い手の育成や新規就農者の確保をし、可能な限り支援を行っていきます。

## 地震災害対策についてのその後

梅澤哲夫議員

**議員** 震災から一年経過しましたが、町から町民に知らせた防災関連について、広報「しらこ」を中心に、振り返ってみますと、情報は十分だとは思いますが、具体的なものが、町民に伝わっているのか懸念されます。

昨年十月三十日に行なわれた避難訓練は形ばかりのものでしたが、反省と改善点について伺います。

又、学校内、保育園内の対応についても伺います。

### 課題点もいくつか

**町長** 昨年度の避難訓練は津波避難訓練として、行なったもので、批判の中で、防災無線に関して、サイレンを変えた事、情報の伝達、緊急避難場所

の周知、避難場所での職員への対応を掲げて行なったものです。

初期の目的は達成されたものと思うが、放送の回数、又、聞こえづらい等、訓練とはいえず、緊迫感不足の声もありました。

### 被災地に学び

**教育長** 学校関係の防災ですが教育委員会、学校と共同で、昨年被災された旭市の関係者の講演を聞き、それぞれのマニュアルをつくり、定期訓練もしています。



## 自治会等との連携は

**議員** 災害時には、自治会、消防団、民生委員を中心に地域での連携をと言われます。自治会活動について、現況組織内容についての把握と、町との関連について伺います。



避難訓練の様子

### 全自治会の組織化を

**町長** 自治会との関連ですが、防災の町づくりは公助・共助・自助の連携で、安心・安全の町づく

りをめざします。

本町でも、九つの自治会で、自主防災組織が結成されていますが、今回を契機に全自治会で対応していただけるよう啓蒙中です。

## 一人住まいの対応は

**議員** 緊急時における、一人住まいの対応として、消防団・民生委員と言われるが、消防団員百七十五名、民生委員二十九名、この人達だけに対応を任せるのは負担が多過ぎると思います。町・町民を挙げて、協力体制をとるべきではないか。

又、一町民として、どのように係わったら良いのか伺います。

### 相互扶助が第一

**町長** 災害弱者と呼ばれる、高齢者、あるいは障

害者が、自力で災害時に避難することは困難です。災害弱者が、町内にどのくらいいるのか、平成二十二年、消防団員にお願いし、本人の同意をもらいリスト作成しましたが、昨年度は活かせませんでした。

災害時は、相互扶助が第一です。自主的行動の中では、当事者の生命に係わる事もあって、非常に難しい問題です。



**要望** 町の体制組織図は出来ているとの事ですが、町を拠点として、災害時に、全町民をあげての連携が出来るよう、各団体と協議していただきたい。



## 白子町の防災計画及び対策について

東海林東治議員

**議員** 東日本大震災から早一年、わが白子町もあ

のような被災者を出さない為、職員の防災意識の啓発が大事だと思います。

そこで現状として、町在住職員と他市町村在住職員の割合を伺います。

また、災害時に夜間等の勤務時間外や休日ではどのような体制をとっているかシミュレーションを基に職員の訓練、配備体制は認識しているか伺います。又、防災対策の講演に職員の参加が少ないのはなぜか伺います。

### 職員の意識の高揚と明確なマニュアル化

**町長** 職員数一四七名の内、概ね三分の二が町内在住であり、三分の一が町外在住者であります。

従来の防災計画は各課での対応でしたが、職員一人一人の細かな対応に

修正しました。また、災害が休日夜間の発生時は、避難所に職員個々が直行できるようにしてあります。

避難所の合鍵についても近隣の方に管理をしていただき、対応できるようにしています。

そして、職員の防災意識の高揚として、宮城県山元町に一般職を派遣し被災地の実状を体験してきました。

### 防災に対する課題

**議員** 震災から一年が経ち、白子町の新たな防災計画の進捗状況・各自治会との取組について伺います。また、今後取り組む施策について伺います。



### 施設・備品の整備と地域住民の連携を重視

**町長** まず、緊急避難場所の協定を再締結いたしました。さらに、備品の備蓄、発電機、水、食料を予算化いたしました。

今後取り組んでいく施策として、九十九里版津波避難ガイドライン等々を基に津波避難計画、避難マップの改訂をいたします。また、防災無線のデジタル化の推進、白濁・南白亀小学校の外階段の設置を予算化しております。

しかし、行政だけでは全ては無理です。住民との連携を重視し、備える必要があると思います。

### 町の財産は住民一人一人の財産

**議員** 歳入歳出予算書について、常に開示が原則であると思います。

行政の予算や決算書は住民すべての財産なので、

ホームページに決算カードの記載や図書室に備置くことが公会計の開示だと思えますが見解を伺います。

### 町の財産を公開へ

**町長** 町の財産は住民の財産です。今後、ホームページにも掲載しますし、いつでも閲覧できるように青少年センターの図書室に備えていきます。

### 子供医療費助成と子育てハンドブック

**議員** 県より中学三年生まで入院医療費助成が発表されましたが、白子町はいつから実施するのか伺います。

また、白子町の通院医療助成制度は小学校三年生までです。学年で隔てることは、感染拡大の恐れがあるインフルエンザ等による学校閉鎖のような状況に即しておらず違いだと思います。長生郡内では中学生ま

で通院医療助成を実施している市町村もあります。町の見解を伺います。また、これから出産、育児に不安無く子育てに取り組める子育てハンドブックの作成が必要と思えますが見解を伺います。



仲良く散歩する園児たち

### 県と同じく助成直接通知で周知を

**町長** 中学三年生まで入院助成対応をしていきます。通院助成の上乗せは考えておりません。

子育てハンドブックは、町が丁寧に直接通知をしているものがあります。対象者が少ないため必要ないと思います。

## 地域公共交通 早急に協議会の立ち上げを

市川隆子議員

議員 二〇〇九年三月議会で地域公共交通についての質問をし、町長は「協議会を立ち上げ、近隣の事例を調査したい。」と答弁しました。この時の調査対象であった一宮町、大網白里町はそれぞれの形式で運行を開始しています。

「バス路線がない」「車に乗れなくなったらバス停が遠く生活が成り立たなくなる」などの声を受け、協議会を立ち上げ運行に向けて努力すべきではないかと思いますが考えを伺います。

### 町の実情に合った方法を模索

町長 町は、協議会は立ち上げませんでした。が、町商業協同組合で実施した「お買い物サービス」を助成しましたが、利用ニーズに合わなかったのか、PR不足もあつたか

もしれませんが、利用者が少なく継続できませんでした。  
町民の声は、私にも届いていきますので、町の実情に合った一番いい方法を模索しているところで



睦沢町町民巡回バス「むつざわ号」

### (後期高齢者医療広域連合) 財政規模に応じた負担に

議員 後期高齢者医療広域連合の一般会計市町村負担金均等割は10%で、

財政規模の大きな政令市や市と人口一万人前後の町村が同額負担となります。

市町村の平均は〇.〇一九%なので、町の平等な負担金は約四十八万円で、三百三十三万円も多く負担しています。

厳しい財政状況の中なのでそれぞれの財政規模に応じた負担に見直すべきだと考えますが、見解を伺います。

### 矛盾も感じている

町長 四十七都道府県で均等割10%のところは四十一と聞いています。しかし、矛盾も感じていますので、広域連合の幹事市町村長の集まる協議会の中で、今の質問を踏まえて、発言してみました。

### 町の責任は子ども・子育て新システム

議員 政府は、昨年六月子ども・子育て新システムの基本方向を打ち出し

ました。

特徴は、子ども手当などの現金給付の制度、保育所、幼稚園、学童保育、地域子育て支援など子育て施策のほとんどを再編成して包括的、一元的な制度にすることです。

保育所と幼稚園は子ども園に一体化され、株式会社などの事業者の大幅参入も進めようとしています。町ではどのように考えるのか伺います。

### 保育所民営化考えていない

町長 保育所の大半が総合子ども園に移行する方向であり、財源が一番大きな問題です。国の動向を注視していきたいと考えています。

また、民営化は毛頭考えていません。

### どうなる保育料

議員 現在の認可保育所は、国の基準を参考にし収入に応じて町が保育料を決めています。この応能負担の原則を変えて



白湯保育所園児たち

利用した時間の長さに応じて負担も増える応益負担にする方針です。

これにより、障害者、ひとり親、低所得の世帯が必要な保育を受けられなくなる懸念がありますが、保育所への影響はどのようなことが考えられるか伺います。

### 利用時間に応じた負担

町長 保育料は、幼稚園部分と保育所部分になる。ので、保育所部分は利用時間に応じた負担になると聞いています。

# ウォーキングロード制定について

## 板倉正道議員

**議員** 白子町では健康増進、病気への予防策を兼ねてウォーキングを奨励しています。ウォーキングロードは幾つかのコースが策定されていますが、策定において問題点もあるようです。

南白亀川ウォーキングコースに対し防犯灯の予算が計上されましたが、どのような計画内容か伺います。

又、設置に際し、消火ネの観点からLED電球、あるいはソーラー発電等を使用する考えがあるのか伺います。

### 身近な健康づくりの一環として

**町長** 南白亀川、旭橋から観音堂橋までの両側六・三キロメートルのコースに防犯灯四十基を設置する予算を計上致しました。

設置に当っては、電柱の位置や配電等、課題も多く指摘されており、今後の後詰めて検討致します。

又、ソーラー発電やLED電球についての質問ですが、ソーラー発電は潮風に対しては耐久性の問題があり、LED電球は高価なので普通電球で考えています。

### 環境整備はどの様に考えているのか

**議員** 南白亀川は県の二級河川ですがウォーキングコースに指定すれば管理点検は町独自でも考慮すべきと思いますが考えを伺います。

又、桜等の枝の整理やゴミ対策、舗装面の亀裂の補修も安全性の観点か

らどの様に取り組むのか伺います。

### 機械、シルバー人材等を使い実施

**町長** 草刈り、整備に於いての予算化は一括して行います。

作業については、機械、シルバー人材を使って管理をします。

河川のゴミ等については南白亀川漁業組合の協力により清掃作業も実施しておりますが、ゴミの撤去等は県にも要望して行きます。



南白亀川堤防の亀裂

又、天場の舗装の亀裂については、津波減災対策で堤防のかさ上げを要望しておりますが実施が遅れるのであれば補修工事を先に着工してもらえよう要望致します。

### ウォーキングロードの拡大は

**議員** 内谷川両岸に桜が植えられ、整備も進んでおりますが、今後ウォーキングコースとして追加して行くのか伺います。

又、白子神社を含め観音堂橋から北日当橋迄を新名所として整備する計画があるのか伺います。

### 美しいまちづくりを

**町長** 内谷川に対しては桜と菜の花ですばらしいと私も思います。

新年度は美しいまちづくりを打ち出して予算化はしてありますので、地

域の皆様と協力しながら取り組みたいと思います。又、ウォーキングコースとして追加して行くのは状況を見極めて決めていきます。

今、町では道路改良の工事に伴い歩道の整備をしております。

町民一人一人が好きな時間に自らコースを選んで行うのが前提です。

今回はウォーキングを奨励するために海と川、町の特徴ある道路、場所を選定しました。

今後、道路改良工事で歩道設置をしていきますので自分自身の歩きやすいコースをウォーキングロードと決めて歩いていただければと思います。



# 平成23年度議案・補正予算についての質疑応答

## 議案

### 議案第二号

【大多和秀一議員】

#### 白子町附属機関条例の制定について

議員 附属機関に統一し日当も半日当に設定することはよいことだと思っております。考えて頂きたいことは、附属機関に議員が多数参画すると思いますが議員の立場から予算の執行状況のチェックや法を作ることから問題がないかと以前から考え

ていました。今回、一例として一委員会に議員一名、他は民間の意見を多く聞く体制にし民間人の登用を多くしたらよいと思いが考えを伺います。  
町長 今回の改正にご理解頂きありがとうございます。私はまちづくりと一緒にすることは問題ないと思えます。ただ参画する議員数は、定数が二十人だった頃の数を継続しているのは事実ですので見直しはしていきたいと思えます。

### 議案第六号

【板倉正道議員】

#### 白子町防災基金条例の制定について

議員 三・一一の震災後防災対策設備は早急に必要なものから整備すべきと思いがなぜ基金が先なのか伺います。  
町長 財政調制基金で積むより防災基金の蓄えと防災意識を持つてもらう意味合いから必要と考えます。

議員 緊急避難所の少ない、八斗、牛込、浜宿等の海岸付近の住民を守る為の防災タワーは必要と思いが考えを伺います。

町長 防災タワーについては必要だとの話はありませんが、費用対効果や、安全性に対しての検証はされておりません。必要な時にすぐ使える基金として理解して頂きたい。  
注 基金は年間五千万円程度、最高二億円程度です。

### 議案第七号

【東海林東治議員】

#### 白子町暴力団排除条例の制定について

議員 町の公的なイベント等に対して露天商の扱いはどのように対処しているのか。また多くの商工関係者が主体の参加が望ましいのではないのか。町の考えを伺います。  
町長 暴力団とはひとつの線を引いた組織だと解釈しています。

## 補正予算

【大多和秀一議員】

#### 合併浄化槽の設置について

議員 設置条件として排水をする場所が必要と義

務付けられています。浸透方式では限界があると聞きます。処理槽の後ろに蒸発散装置を付ける事になります。補助金の対象外です。高額の負担をしないと設置できません。国、県の規制があると思えますが、蒸発散装置を含めた補助金体制にならないか伺います。  
町長 今回のところ蒸発散装置は補助対象外という現実がある中で、救済策を考え県とも相談します。



合併浄化槽

【市川隆子議員】

#### 住宅耐震診断は

議員 個人住宅の耐震診断が進まないのですが、ひとり暮らしの高齢者が実施できないのも一つの理由ではないかと考えますが、どのような状況か

伺います。  
町長 独居の方については、ていねいに周知をしなければと思いますので、少し加味した周知をしていきたい。

## 若者マイホーム

議員 今、若者の仕事がなく、通勤できる範囲でなければ移り住めないという事情もあるのではないかと思います。今後はどのように工夫していくのか伺います。  
町長 雇用の問題も大きく影響していると思えます。

若し人たちが住んでくれることを、予算措置だけでなく考えていかなければならないと思えます。



工事中的の新築住宅

# 平成24年度一般会計・特別会計についての質疑応答

【大多和正之議員】

## 電気料金の値上げについて

**議員** 四月から東京電力が電気料の十七%の値上げを行う予定ですが、白子町のホテル等の宿泊業も震災、風評被害で売り上げも落ち込んでいます。又、千葉県も被災地扱いになっているので東京電力が値上げをすることに、対し観光業の売り上げ等が復活するまで値上げを猶予して頂く、要望はできないか、伺います。

**町長** 白子町も被災地に認定されており、又、県議会も値上げ反対の決議をする、聞いていますので、県との整合性を持つたなかで、対応していきます。



【今関勝巳議員】

## 消防機庫改築について

**議員** 今回、改築の耐用年数、面積と平屋か二階なのか予算総額はいくらか伺います。

**総務課長** 機庫ですが、面積は五九・六二平方メートルで、木造平屋です。総事業費は、一一九七万円です。耐用年数は概ね三十年ぐらいますが状況によって早まる場合もあります。

**議員** 坪単価が高いと思えますが、建築基準があるのか伺います。

**総務課長** 消防本部で一括入札をしております。全消防機庫と同じ対応です。

**議員** 耐用年数を経過している機庫がありますが、これらの対応について伺います。

**総務課長** 分団の要望をふまえ改築を進めてまいります。現在のところ要望はありません。

【板倉正道議員】

## 学校整備について

**議員** 津波対策の一環として南白亀小学校、白濁小学校の屋上避難階段の新設工事が計上されましたが、屋上の手すり等も計上されていますか。

白子中学校、関小学校の整備はどの様に行うのか。

又、南白亀小学校、関小学校の全面芝生化工事はどの様な工程で行うのか伺います。

**教育課長** 災害時の避難先を確保する意味から、南白亀小学校、白濁小学校の屋上避難階段の設置を検討したものであり、手すり等は今後検討します。中学校は内階段で上げられます。関小学校については、今後の工事になります。

南白亀小、関小の芝生化工事は六月中旬以降、供用開始は八月下旬を想定しております。

【酒井良信議員】

## コミュニティ・プランについて

**議員** コミュニティ・プランの現在の接続率について、一〇〇%目指すには町長はどういう施策を持っているのか伺います。

**環境課長** 第一から第三平均は、七五%の接続率となります。

**町長** 当初は七五%を目指して進めました。利便性を図る施設です。未加入の家庭は、リフォーム事業等に乘せて、啓発活動は引き続きいたします。

【河野豊議員】

## 白子町観光の育成は

**議員** 白子町は観光資源のない町ですが、南白亀川の利用で観光資源の育成を町として取り組む気があるか伺います。

**町長** 観光資源の育成、リピーターの確保など、

更に今後も取り組んでいきます。

### 子育て支援事業について



学童保育

**議員** 学童保育は現在、白潟地区については実施されており、関地区、南白亀地区より、開設の要望があり、本年度予算計上されているが、立ち上げについては、予算だけでなく、人的な助成も必要だと思いが考えを伺います。  
**町長** 子育て支援、特に学童保育については、立

ち上げのメンバーから要望がきています。大変重要な事業だと思っておりますので資金の援助、人的な支援はしていきます。基本的に運営は自主運営をしてもらいます。

#### 【市川隆子議員】

### 相談窓口は

**議員** 庁舎一階ボイラー室を多目的室に改修する事業は、窓口相談に来た方のプライバシー保護のため相談室としても使用できるのか伺います。  
**総務課長** プライバシーが保ちづらい状況の中で、ボイラー室は倉庫がわりなので、相談業務、一般事務両方で使用できるよう改修します。

### 一〇七号線の進捗状況は

**議員** 一〇七号線は、基本的には両側歩道で進めていくのか、またNTT

前の見通しを伺います。

**町長** 理想は両側歩道ですが、用地の問題もありますので、片側はきちんとつくるということで進めています。

NTT前、古所のT字路は後回しになっていますが、他が仕上がってからとご理解いただきたいと思えます。

#### 【東海林東治議員】

### 入り口は明るく

**議員** 町役場は、入り口、ホールの電灯が常に消えています。節電の為に消していると思いますが、今は、LED等を使用すれば、消費電力は十分の一位ですみます。住民サービスの入り口が暗いというのは町全体を暗いイメージに感じさせます。節電というならば細部に渡れば経費削減箇所が多々あります。庁舎に入りする方々がホールに

入って明るいイメージを持つのは非常に大切な事だと思います。意識の改革が必要と思えますが、町はどの様に考えているのか伺います。



役場玄関ホール

**町長** 玄関ホールだと思いますが、昼間は電灯を付けていません。一時節電の必要な時に消しました。冬場は、夕方につけるといふ事でご理解頂きたいと思えます。



#### 【大多和秀一議員】

### 路線バス運行どうする

**議員** 二、三年前は本納線と白里線の路線バスは廃止の方向でしたが、公共の交通機関の確保と云うことで、各市町村が補助金を出し小湊バスに運行をお願いしてきました。二十四年度も予算計上してありますが、最終的に利用頻度を見ておかないと無駄な財源投入にならないか見解を伺います。

**町長** 赤字の路線バスに一定割合で補てんして立ち上げますと多額の費用が必要となります。弱者や福祉的にも廃線せず確保しておきたいと思えます。



# こんなことが、 決まりました。 定例会 第1回 議案の内容

## 予算・条例改正

平成二十三年年度補正予算、条例改正及び平成二十四年度新年度予算については賛成多数で原案のとおり可決されました。なお詳細については、白子広報四月号をご覧ください。

## 発議案

首都圏中央連絡自動車道「(仮称)茂原北」インターチェンジの正式名称に関する意見書(可決)

## 農業委員

農業委員会委員の選任に伴い、議会推薦の委員に次の二名が推薦されました。

- 三橋要一郎(牛込東)
- 田邊 淳子(五井西)

## 選挙管理委員会委員

選挙管理委員会委員及び補充員に次の方々指名推選により当選されました。

- 委員
- 齋藤 洋一(牛込東)
  - 田邊 正也(浜宿西)
  - 河野 稔(中里中)
  - 石井 英昭(関 北)

## 補充員

- 三橋 昭和(北日当)
- 長島登志男(剃金東)
- 並木 孝也(南川岸)
- 鶴澤 義敏(古所西)

## 職員人事異動

四月一日付で人事異動がありました。( )は旧任です。

- 会計課長 森川 茂 (議会事務局長)

- 議会事務局長 御園 清次 (会計課長)



# 町議会を傍聴しましょう。

## 次の定例会は6月の予定です。

詳しいことは、議会事務局へ。TEL33-2169/FAX33-4132  
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

## 編集コラム

国会は将来の社会保障制度の在り方をめぐり税制改革法案で増税議論が伯仲している。

税収の8割がたを占めるといわれる基幹3税その一部、消費税は税率を1%上げれば2.7兆円、5%で約13兆円の増収を見込み、高齢化社会対策などへ進む手立ての策だとし、原資の確保を強調、ソロバンをはしく。

一方で、少子化対策では平成60年過ぎには全国の人口が今の3/4に減少推移すると聞く。

次世代を担う若者たちがあらゆる面で未来に不安定要素がのしかかる時代を、素朴だが真剣に考えて見なければ。

婚活、結婚、出生率の低下が続く中、これからの国を支えてくれる分子の確保、ほど将来を託す大切なものに保障制度の大事な財源がより豊饒であってよいのでは。

北田 頼光